

様式1

## 令和4年度水産振興部予算見積総括表

### 一般会計

令和4年度予算見積額	5,023,707 千円
令和3年度当初予算額	4,235,971 千円
差引増減額	787,736 千円
対前年度比率	118.6 %

### 沿岸漁業改善資金助成事業特別会計

令和4年度予算見積額	26,219 千円
令和3年度当初予算額	28,792 千円
差引増減額	-2,573 千円
対前年度比率	91.1 %

(注)上記には、人件費を含まない。

## 様式 2

### 1 令和4年度予算の基本的な考え方

- 水産振興部では、漁業を取り巻く厳しい現状を打開し、漁業者とその家族が将来にわたって漁村で生活することができる「若者が住んで稼げる元気な漁村」の実現に向け、「第4期産業振興計画」に基づき、漁業生産の構造改革や市場対応力のある産地加工体制の構築、流通・販売の強化、担い手の育成・確保を重点に取り組みます。
- 漁業生産の構造改革の取組では、水産業のデジタル化を図る高知マリンイノベーションの取組を推進します。これまで実施してきた4つのプロジェクトチームでの取組を進めるとともに、新たに、より収益性の高い漁業経営を実現するため、出漁前に漁獲物の種類や数量を予測し、併せて市況データや操業コストから利益が見える化することで、漁業者の出漁の判断や漁場の選択などを支援するシステムの開発に取り組みます。

さらに、本県の重要漁業である定置網漁業の振興を図るため、経営体の事業戦略策定支援及び漁船等の設備投資にかかる支援に取り組みます。
- 市場対応力のある産地加工体制の構築の取組では、様々なニーズに対応するため水産加工施設の立地促進や既存加工施設の機能強化、また米国等の衛生基準に対応するために必要な水産加工施設等の高度化等の取組を支援します。
- 流通・販売の強化の取組では、水産物流通の中核を担う卸売市場関係者と連携し、関西圏では量販店に加え飲食店チェーンを重点ターゲットに拡大します。さらに関東圏でも新たに取組を開始し、県産水産物の販売促進活動を強化します。

また、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けている「高知家の魚応援の店」への訪問活動やオンラインの積極的な活用等による取引の回復、拡大を図ります。

輸出の促進に向けては、商社や食品海外ビジネスサポーター等と連携したプロモーション等の強化等、海外有望市場への販路開拓等に引き続き取り組みます。
- 担い手の育成・確保の取組では、（一社）高知県漁業就業支援センターの研修事業等を引き続き支援するとともに、関西での漁業就業フェアやインフルエンサーと連携した情報発信等を実施することで、漁業への就業希望者の掘り起こしを強化します。
- 南海トラフ地震対策では、引き続き屋外燃油タンクの撤去や沈廃船の処理を推進するとともに、防災拠点漁港の防波堤の粘り強い構造化に取り組んでまいります。

## 2 令和4年度一般会計予算見積額

単位：百万円

( ) 内は一般財源

項目	R4当初 見積額	R3当初 予算額	増減 (R4 - R3)	主な増減理由
1. 漁業生産の構造改革	2,105 (526)	1,447 (343)	658 (183)	・操業効率化支援ツールの開発による増98(98) ・中層型浮魚礁の撤去工事費の増262(30)
2. 市場対応力のある産地加工体制の構築	18 (3)	451 (35)	▲433 (▲32)	・共同加工施設の整備完了による減▲444(▲30)
3. 流通・販売の強化	591 (523)	370 (265)	221 (258)	・関東地区における県産水産物の販売の促進21(21) ・水揚げ荷さばき施設整備事業費の増64(5)
4. 担い手の育成・確保	191 (191)	139 (119)	52 (72)	・かつお・まぐろ漁業経営体の事業戦略の実行支援にかかる費用の増17(17) ・資源管理に取り組む漁業者のリース漁船導入経費の支援にかかる費用増33(33)
5. 南海トラフ地震対策	306 (116)	223 (78)	83 (38)	・内水面漁業センターの施設改修工事及び監理委託費の増60(60) ・田ノ浦漁港及び沖の島での防波堤の粘り強い構造化工事費の増48(2)
6. その他	2,207 (680)	1,850 (555)	357 (125)	・海洋漁業センター空調機改修工事等の完了による減▲41(▲8) ・宇佐漁港等における施設の長寿命化対策工事費等の増392(104)
<b>部合計(再掲除く)</b>	<b>5,024</b> (1,637)	<b>4,236</b> (1,175)	<b>788</b> (462)	

# 令和 4 年度 水産振興部の施策のポイント

## 1. 漁業生産の構造改革

※()は一般財源、[]は令和 3 年度当初予算

新

### 操業効率化支援事業費(操業効率化支援ツール開発事業委託料)

97,967千円(97,967千円)

[0千円(0千円)]

デジタル

デジタル技術を活用して出漁前に漁獲物の種類や数量を予測し、市況データや操業コストから利益を見える化することで、漁業者の出漁の判断などを支援するツールの開発を行います。

拡

### 漁業経営安定特別対策事業費(事業戦略策定・実行支援業務委託料)

39,270千円(39,270千円)

[23,100千円(23,100千円)]

かつお・まぐろ漁業者の事業戦略策定及び実行並びに定置網漁業経営体の事業戦略策定を支援し、経営の健全化を図ります。

- 主な拡充内容：かつお・まぐろ漁業経営体の持続的な経営を図るため、新たに事業戦略策定後の実行支援及び定置網漁業経営体の策定支援に取り組みます。

新

### 養殖業振興対策事業費(種苗普及促進事業費補助金)

4,200千円(4,200千円)

[0千円(0千円)]

次世代

グローバル

養殖の安定生産及び輸出に適したブリの生産を推進するため、人工種苗の導入を支援します。

- 補助率(補助上限額)：1/2
- 補助先：漁協・水産加工業者等 3 者以上で構成される団体

新

### 漁場環境保全事業費(藻場分布調査委託料)

9,944千円(9,944千円)債務負担行為19,536千円

[0千円(0千円)]

グリーン

高知県沿岸海域の藻場のタイプ別の面積及び主要海藻を調査することにより、県内の藻場の実態を把握し、効果的な藻場の保全活動を推進します。

新

### 内水面漁業振興事業費(あゆ有効活用計画推進事業費)

10,779千円(10,779千円)

[0千円(0千円)]

あゆ王国高知振興ビジョン(仮)に沿って進めていく取組を効果的かつ実効性あるものとするため、取組の進捗確認や助言を行う委員会及び作業部会を開催するとともに、県内あゆの知名度向上を図るための情報発信を実施します。

## 2. 市場対応力のある産地加工体制の構築

## 3. 流通・販売の強化

### **拡** 水産物地産外商推進事業費(水産物外商活動支援事業委託料)

41,279千円 (41,279千円)  
[39,525千円 (0千円)]

「高知家の魚応援の店」との取引額の拡大に向けた「応援の店」へのきめ細やかな営業訪問活動や、オンラインの積極的な活用等により外商活動を推進します。

- 主な拡充内容：県産水産物の試食相談会を会場に加えオンラインでも参加可能とし、事業者の参加しやすい環境を整えます。

### **新** 水産物地産外商推進事業費(関東地区水産物販売促進事業委託料)

20,082千円 [20,082千円]  
[0千円 (0千円)]

関東卸売業者及び大手水産会社と連携し、量販店や飲食店チェーンでのフェア開催などの販売促進活動を実施し、県産水産物の販売拡大を図ります。

次世代

## 4. 担い手の育成・確保

### **新** 沿岸漁業担い手活動促進事業費 (漁業就業支援事業費補助金のうち、漁業就業者確保・情報発信委託事業費)

100,833千円 (うち、次世代枠15,474千円) (100,833千円)  
[92,574千円 (73,125千円)]

漁業生産量の維持・増大と担い手の確保・育成を図るため、一般社団法人高知県漁業就業支援センターが行う研修事業等を総合的に支援します。そのうち、漁業就業者確保・情報発信委託事業では、関西において雇用型漁業を中心とする漁業フェアを開催するとともに、インフルエンサーと連携した漁業就業に関する情報発信を行うことで、就業希望者の掘り起こしを強化します。

- 補助率（補助上限額）：定額
- 補助先：（一社）高知県漁業就業支援センター

次世代

## 5. 南海トラフ地震対策

### **新** 漁業調整費 (漁業権漁場基点測量調査事業費)

12,431千円 (12,431千円)  
[0千円 (0千円)]

災害等による漁場基点の消失に備え、基点の緯度経度の測量と位置図を作成し、漁業区域の明確化を図ります。